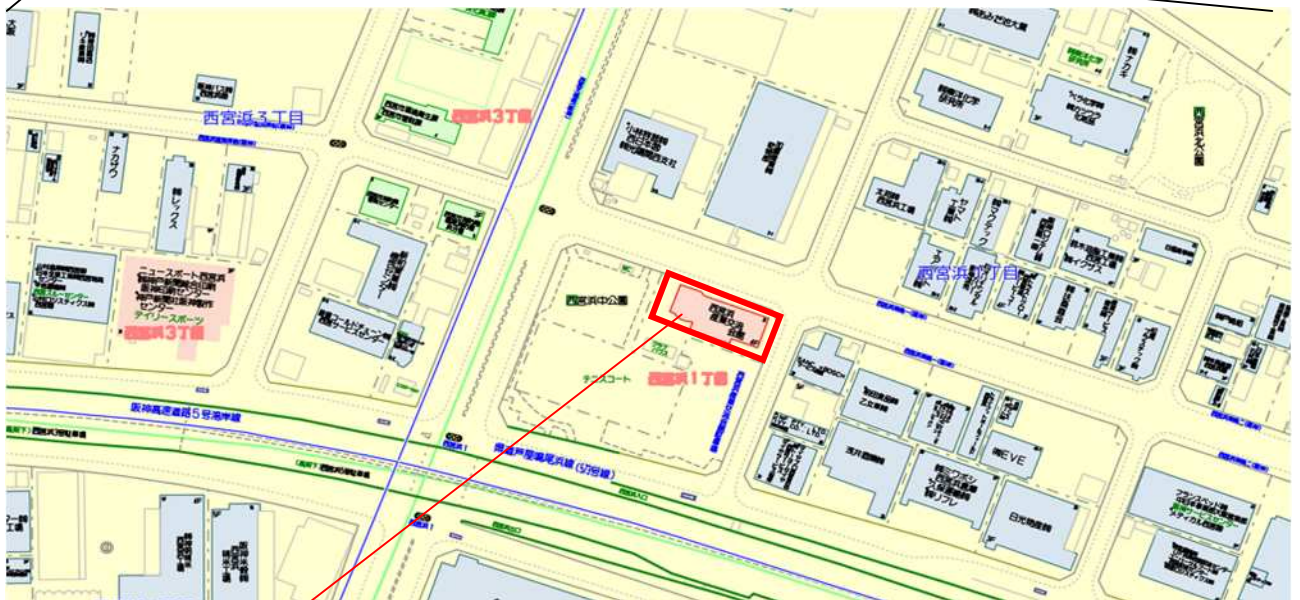


【現地 MAP】



西宮市西宮浜1丁目31 西宮浜産業交流会館1階ホール
(施設内に駐車場有)

西宮浜産業団地協議会（西宮市消防協力隊）に対する講習会タイムスケジュール

- 13:20 分署出発（徒歩）
- 13:30 開会（浜産業団地協議会事務員）
浜産業団地協議会 会長（蜂谷氏）挨拶
浜消防分署 分署長挨拶
- 13:35 消防防災クロスロード（主担当；黒木）
- 14:45 休憩
- 15:00 救急救命講習（主担当；久保）
- 15:55 研修総括（事務局長）
- 16:00 終了

参加企業 一部抜粋・順不同

- ・古野電気（株）
- ・加藤産業（株）
- ・阪神ロジテム(株)
- ・(株)ミワボシ
- ・(株)オリエンタルベイカリー
- ・(株)ピカソ美化学研究所
- ・(株)スタジオ・シュゼット
- ・(株)東洋化学研究所
- ・ひょうご埠頭(株)
- ・新西宮ヨットハーバー(株) **他50社**

西宮市消防協力隊について（西宮市 市政の概要から抜粋）

阪神・淡路大震災時には未曾有の被害が発生し、災害の規模が消防力を上回ったが、市民、自主防災組織、消防団、消防局等が一体となり、消火、救出、警戒にあたり大きな力を発揮した。大規模災害時の災害対策活動は、災害発生初期の対応が特に重要であり、かつ専門的な知識、技術を有する多くの人員が必要である。そこで、市内各事業所の協力を得て平成 8 年度に西宮市消防協力隊制度が発足した。これは自衛消防隊ポンプ操法大会等を通じて訓練し、精通された消防防災活動能力を持つ自衛消防隊が、可搬式ポンプや大型消火器、救助資器材等を活用して、事業所を拠点とした周辺地域の消火、救急、救助活動等を行うとともに、施設を開放しての給水、食料の供給等を行うものである。

また、大災害時においては、消火等のみならず、医療、輸送力等の協力も必要となるため、平成 18 年度からは自衛消防隊を有さずとも災害活動能力を有する事業所まで対象範囲を拡大し、活動経費の負担や災害補償等を盛り込んだ協定書を交わし、26 団体（平成 29 年 4 月 1 日現在）に対して市長から委嘱状を交付している。